

2022年度 日本工学院専門学校

声優・演劇科

演技研究Ⅱ

対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	40	単位	2
担当教員	城田浩司			実務 経験		職種	有・俳優				

担当教員紹介

産業能率大学経営情報学部経営学科卒業
元俳優付き人／ものまねタレント「ものまねグランプリ」 「行列のできる相談所」 「ザ・細かすぎて伝わらないモノマネ」 「今夜くらべてみました」 「ぐるぐるナインティナイン」 「笑う大晦日」 ドラマ「法医学教室の事件ファイル24～30」 「時効警察」 他

授業概要

役者が行う演技・演劇とは、「人間」を演じることである。様々な個性・感性・考え方を持つ他者と会話をし、理解し合うことで、コミュニケーションスキルを身につけると同時に、「人間」を研究し、知ること演技の幅を広げていきます。加えて作品鑑賞・オーディション講座を通して、他者からの見られ方を研究し、セルフプロデュース力を高めます。
また発声滑舌と内面の解放の反復練習を要する基礎トレーニングを実施します。

到達目標

全員と会話をする。グループワークを通して、協調性を養う。相手の状況・立場を考えながら、自分の意見を話すことができるようになる。演技パターンを増やし、広げていく。対策講座を経て、オーディションに臨む心構えを学び、プロフィールの完成を目標とする。

授業方法

この授業では、グループワークを多く取り入れる。前期前半は、コミュニケーションスキルの向上を目指し、後半では、オーディションに臨むための知識を習得、実演する。後期では、業界研究・作品鑑賞を通して、演技の幅を広げ、エチュードを使って稽古・発表を行う。

成績評価方法

平常点 70% 積極性や協調性など、授業への取り組み方を評価します。
レポート 30% 振り返りレポートを作成することにより、自身の成果を確認します。

履修上の注意

遅刻・欠席をしない。自発性・主体性。他人への思いやり。
授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

回数	授業計画
第1回	作品鑑賞①／同タイトルの舞台作品と映像作品を鑑賞し、それぞれの特徴を理解する
第2回	作品鑑賞②／ドキュメンタリー作品から、芸能界での生き方を感じる
第3回	業界研究①／現場マネージャーの話を聴いて、役者の仕事を深く理解する
第4回	業界研究②／業界スタッフの話から、選ばれるための心構えを持つ
第5回	作品鑑賞③／名作・時代ものを鑑賞することで、興味・表現方法の幅を広げる

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
演技研究Ⅱ	
第6回	作品鑑賞④／舞台発表を鑑賞し、映像作品とは異なる舞台作品の良さ・特徴を考える
第7回	業界研究③／アニメ・放送業界について学ぶ
第8回	作品鑑賞⑤／邦画と洋画（リメイク版）を鑑賞し、表現方法の違いを理解する
第9回	作品鑑賞⑥／邦画と洋画（リメイク版）を鑑賞し、表現方法の違いを理解する
第10回	エチュード①／グループ毎、作品を選択し読み合わせをしながら、それぞれのポジションを決定する
第11回	エチュード②／読み合わせを繰り返し行いながら、なるべく多くのアイディアを出し合う
第12回	エチュード③／粗立ち稽古。様々な設定・シチュエーションを演じ、より良い表現方法を模索する
第13回	エチュード④／中間経過発表。一旦、本番同様に演じてみることで、改善点を見出す
第14回	エチュード⑤／全員で改善点に向き合い、発表本番に向けて準備する
第15回	エチュード⑥／発表本番。成果の確認